

ライフ

あけぼの

平成28年5月号

発行所 一般財団法人 榛名荘

介護老人保健施設 あけぼの苑 NO.61

撮影：大河原施設長

平成二十八年度家族の会 会長就任挨拶 小材 敏雄



陽春の候、家族の会の皆様におかれましてはご清祥の事とお喜び申し上げます。日頃より家族の会の活動に際し、ご協力を頂き感謝申し上げます。第二十二回あけぼの苑家族の会総会が、平成二十八年二月二十七日(土)九時三十分より中央病棟四階にて家族の会の皆様にご大勢のご出席を頂き、開催されました。園田陽一会長が議長として議案審議が始まり、平成二十七年年度の事業報告や決算、及び会計監査報告と平成二十八年度事業計画案が賛成多数で承認されました。続いて役員改選の審議が行われ、長年に渡りご指導、ご苦勞頂きました園田陽一会長が退任され、私が皆様の推薦を受け、会長役をお受けする事になりました。家族の会の皆様のご指導とご協力を頂きながら、新役員の皆様、あけぼの苑スタッフの皆様のお助けをお借りして、微力ながらお役にたてればと思っております。一年間宜しくお願い致します。

今回の総会では会則の改定があり、平成二十八年四月一日より、あけぼの苑利用者様の家族の皆様におかれましては、ご利用開始日より、家族の会の会員になって頂く事に会則が改定され、承認されました。今後とも家族の会の趣旨を御理解いただき、ご多忙とは思いますが、家族の会の活動にご協力の程、宜しくお願い致します。

今年度のあけぼの苑が参加する行事としては、榛名荘祭りが最初となりましたが、いかがでしたか。桜の花も見頃を迎え、懐かしいチンドン演奏や踊り、プロの歌手によるステージや琴演奏など、多くの催し物を利用者様と御家族の皆様と一緒に見物し、想い出に残る楽しい一時を過ごされたと思っております。今後ともあけぼの苑の行事に、大勢の家族の会の皆様の参加をお願い致します。

最後になりましたが、今回の祭り開催に際し、御苦勞下さいましたボランティアの皆様、榛名荘病院、あけぼの苑スタッフの皆様にご御礼申し上げます。有難うございました。今後とも宜しくお願い致します。

あけぼの苑 家族の会 総会

平成二十八年二月二十八日土曜日に榛名荘病院中央病棟四階にて第二十二回あけぼの苑家族の会総会が、執り行われました。議事・議案全て承認され、来年度より家族の会をより広く認知・活用して頂く為に平成二十八年度より家族の会会費を廃止し、あけぼの苑をご利用なされたご家族様は皆、あけぼの苑家族の会会員になっていただき、介護に関わるご家族様の情報、意見交換の場の提供、あけぼの苑からの介護情報の発信、気軽に集える環境として成り立つ事を目的とした会則の変更案を議案し、承認を頂きました。会費廃止承認に伴い、あけぼの苑家族の会会費繰越金を目録として進呈して頂きました。大切に使用させていただきます。

平成二十八年度よりあけぼの苑ご利用者様のみならず、ご家族様の健康をテーマにした新たな催しを検討しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。



目録進呈の様子

介護研究シリーズ 1 「介護抵抗」という言葉 本当の意味

前回のあらすじ

『「介護抵抗」のある人』とは…介護を提供する側から安易に発せられる言葉であり「好意の介護」に対する「悪意の抵抗」という感覚で捉えた、介護を提供する側からの見方や考えではないのでしょうか？

介護保険上でも表記されている「介護抵抗」という言葉の「真意は、何か？」について追求することは、介護サービス提供のベースとなっている「要介護状態となった方の尊厳の保持する」という基本を介護提供側に意識させることになるのでは…

近隣の病院から当苑に入苑した認知症の67歳、要介護4のFさん、病院からの情報では「介護抵抗がある」ことが看護の課題点としてあがっておりました。

介護拒否反応との出会いは、『食事から始める自立支援』（口の中の衛生を良好にして、おいしく食事が食べられることが自立支援の第1歩で当苑が大切にしているサービス提供の1つ）の提供からでした。口の中の衛生を整える（俗に捉える「好意の介護」）介護に対しFさんは「介護抵抗」で応答しました。これは同時に職員間での議論検討開始のホイッスルが鳴った場面でもあり、Fさんへの介護提供の中で「介護抵抗」についての真意の追求が始まったのです。嫌がる原因は何か？ 認知症が嫌がる原因を引き起こしているのか？ 認知出来ないところが原因か？ 介護職員と人間関係？ 相性いい職員悪い職員？ 信頼してくれているのか？ 不安があるのか？ 協議した結論は、「Fさんと信頼関係を築く。それにはどうするか？」でした。こうして、介護側の都合のよい言葉「介護抵抗がある人」なので「しかたがない」で結論づけるのではなく、『食事から始める自立支援』を提供していくことを目標に、Fさんへの試行錯誤の展開がスタートしたのでした。 次回に… To be continued

万が一に備え、火災避難訓練を実施！

あけぼの苑では、年に2回、火災避難訓練を行っております。

今回は、平成28年3月25日に行った訓練の様子をご紹介します。訓練概要としては出火場所はあけぼの苑西棟、給湯室より出火し、訓練は昼間に実施しましたが夜間の想定で行いました。その為、職員も全員が参加するものではなく、夜勤帯に出勤をしている3名で避難をしました。しかし、あけぼの苑西棟だけでは避難させるのも困難な為、榛名荘病院から応援に駆け付けたり、時には新生会スタッフや近隣の方々などにも協力を仰いで訓練を行っています。また、訓練後には防火設備の使い方や屋内消火栓、消火器の使用方法など実践を取り入れて職員一同で周知する様に努めています。訓練を行い、被害を最小限に留めることは非常に大事な事ですが、まずは火事を起こさない、火の管理に配慮をしていく事が最重要です。乾燥が原因で火災の起きやすい時期は過ぎましたが、皆さんも自宅での火事などには十分に気を付けて過ごして頂ければと思います。



東棟の取組紹介

自立への支援

『あなたの希望は何ですか』

〈希望を現実〉

希望が叶うことは生活、自立支援においてとても大事な事であり、大切にしたい事とあけほの苑では考えています。

以前作った毛糸を使つてのクッション作り「また出来たらいいな」の一言で始まりました。

ケアプランにご本人の希望を取り入れてお誕生日には完成させたいという目標をもつて二か月前より取り組んできました。毛糸の色、絵柄、編み方など一つ一つ考えて作ったクッション。時折、編みながら昔話に花が咲き楽しい時間を過ごすことができました。目標であったお誕生日には、世界に一つしかない素敵手作りクッションを見事に完成させることができました。

HAPPY BIRTHDAY



東棟行事

一月 餅つき

一月の行事、年の始め昔を思い出し、気分だけでもお正月を味わって頂くという事でお餅つきが恒例となりました。杵を一人一人順番に持ち、お餅をつきました。「大変だー、重たい」などと声を上げながらでしたが、段々表情が満面の笑顔になり「楽しかったね、食べたいね」と賑やかに終わりました。



二月 節分

二月三日、豆まきを行いました。「福和うち、お庭外」と大きな声で豆の代わりにカラーボールを鬼に当て福が来るよう祈りを込めて投げました。鬼が倒れるまでボールを投げ鬼が倒れた時には皆様、笑顔で喜んでいました。普段あまり体を動かさない方も懸命にボールを投げていました。



三月 餃子作り

三月一六日、利用者様に野菜を刻んで頂き職員と一緒に餃子を作りました。焼き餃子とスープ餃子を用意しました。利用者様からは、久しぶりに食べると美味しいねと好評で、会話も弾み、笑顔も多く見られました。



四月 榛名荘まつり

四月三日、天気が心配でしたが日が出て暖かく、桜も満開で見事でした。御利用者様方も久しぶりの外で気分転換になりました。出し物を見て綿菓子を食べ、皆様の笑顔見られました。午前、午後と家族一緒に、桜の下で楽しまれました。



あけぼの苑西棟

西棟紹介:地域唯一の認知症専門棟として、利用者さまの幸せのため、日々頑張っております
認知症の方への介護方法について不安がありましたら、お気軽にお問い合わせ下さい。

一月行事

一月、レクルームに特設した、あけ西神社で初詣を行いました。家族の健康やご自身の健康の事、美味しいものを沢山食べた、早く家に帰りたいなど、願う表情は真剣でした。お参り後、お正月を皆で唄いお正月の雰囲気を感じてもらいました。お年賀を貰った時の利用者様の無垢な笑顔が印象的な年始の行事でした。



二月行事

二月、春のはじまり立春の行事として豆まきを行いました。豆の代わりにボールを使用し、「福はー内、鬼はー外」と声を出しながら鬼に扮装したスタッフめがけボールを投げられていました。鬼を追い出した後、甘いおやつを召し上がりしました。その時「季節の変わり目は鬼が出やすいから、これで安心しだよ」と笑顔を見せお話し下さいました。



三月行事

三月、雛祭り桃の節句を楽しんでいただきました。レクルームに雛壇を飾り、女性利用者様にはおすべらかし、男性利用者様には冠をかぶっていたいただき、また、うれしいひなまつりなどの歌を唄うなど、素敵な雛祭りになりました。最後にお雛様と記念撮影しました。



四月行事

四月三日桜が咲く時期に開催される一大イベント、第二回榛名荘まつりに参加しました。桜も七分咲き、天気も良く、久しぶり外出に皆さま「早く行きたいよー」と自分の順番が来るのが待てないようでした。それに加えご家族様が来られた利用者様は、嬉しさのあまり涙を流されていました。ご家族の存在の大きさを改めて実感しました。まつりのゲストとして来られていたぐんまちゃんも西棟に来てくれて、ぐんまちゃんと一緒に記念写真を撮る事ができました。皆さま、いい思い出になったと思います。





通所行事紹介

一月 新年会

今年最初の行事は、皆様に福が訪れるようにと福笑いゲームを行いました。顔ができ上がるたびに歓声がおき、大変盛り上がりました。次に行った上毛カルタでは、真剣な勝負が行われ、活気にあふれた明るいお正月が迎えられました。



三月 雛祭り

雛祭りの由来を話したあと、お雛様の絵をつけたペットボトルでボーリングを行いました。大きなボールの使用は慣れるまで苦戦しましたが、段々と倒れる数も増えて応援が賑やかにになりました。次に、手話で「春が来た」を歌いました。皆様上手にできており、笑顔で行って頂くことができました。



二月 節分

豆のかわりにお手玉を使用し、鬼の持つ籠や鬼の的に向かって鬼退治を行いました。豆まきは大迫力で、的に当たる音は職員がビックリするほどでした。一人ひとりに福入れを行い、カードを渡し、より良い一年を願いました。



四月 お茶会

今年は桜の開花が順調で、散り際の桜の下でのお茶会となりました。時折風が吹き、肌寒さを心配しましたが、気にされる方は少なくお仲間や職員と会話が弾み、春を感じながら楽しいひと時を過ごすことができました。



クラブ活動

始めました！

ご利用の皆様にご継続した楽しみに、今年度からの新しい取り組みとしてクラブ活動を開始致しました。四月からは、

- ① 卓球部
- ② 絵手紙の会
- ③ お散歩クラブ

が活動を始めています。

